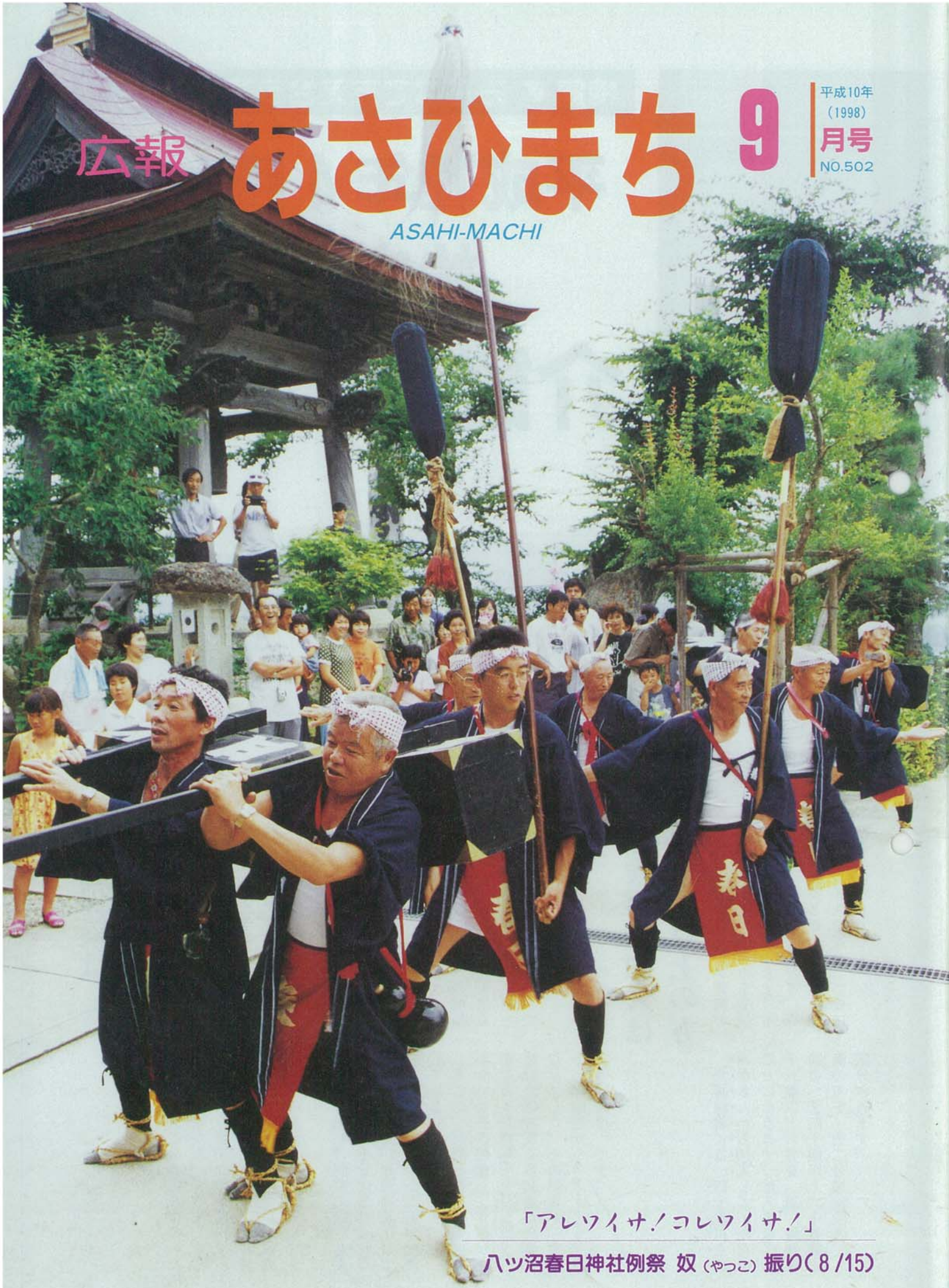
広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

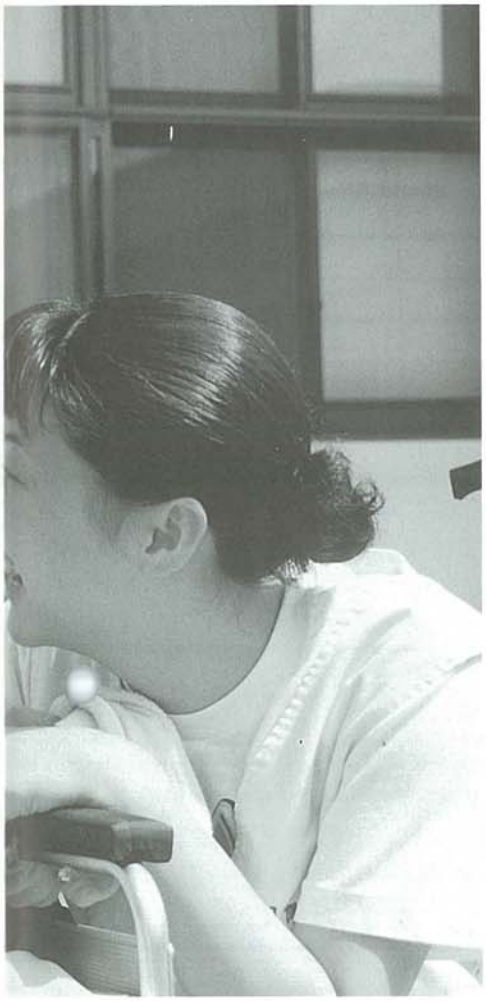
9

平成10年
(1998)
月号
NO.502



「アレワイサ！コレワイサ！」

八ツ沼春日神社例祭 奴（やっこ）振り（8/15）



特集◐みんなで支え合う高齢社会

平成12年4月から始まります 介護保険制度

平成12年度から始まる「介護保険制度」は、老後への安心を見つめて、高齢者の介護を社会全体で支え合う制度です。

では、介護保険とはどのような制度なのでしょうか。そこで今月は介護保険制度について紹介します。

介護保険はなぜ必要なのでしょうか

急速に進む高齢社会。日本の総人口は、二十一世紀に入ると二〇〇七年をピークに減少しはじめ、二〇二五年には国民の四人に一人(二五%)、二〇五〇年には三人に一人(三三・三%)が六十五歳以上という超高齢社会に入るといわれています。当町ではすでに、平成十年四月現在の高齢化率(総人口に占める六十五歳以上の人口割合)は、二八・五%となっています。

このように高齢者人口の増加にともない、寝たきりや痴ほうのお年寄りなど、介護を必要とする方の割合も年々増えてきています。

これまでの高齢者の介護といえば、老人ホームなどの施設や自宅で、大きな負担を背負いながらも家族が担ってきました。しかし、介護期間の長期化や少子化、核家族化などにより介護を取り巻く状況も変化し、家族だけでの介護が難しくなってきています。

また、現在の制度では、必要なサービスが十分に受けられない、一般病院が介護施設化している…などといった問題が山積していることも確かです。

そこで、医療と福祉の連携をよりいっそう強化し、介護が必要な方と介護をする方の両方を、社会全体で支える制度が必要となりました。その制度が、平成十二年四月からスタートする「介護保険制度」です。

保険への加入は四十歳以上の方

介護保険制度は、町が運営の主体となり、国・県が町を支援する仕組みになっています。毎月保険料を納めていただき、介護などが必要となったときに総合的なサービスを安心して受けられるというものです。

介護保険には、四十歳以上のみなさんから加入していただくことになります。加入者は①六十五歳以上の方を「第一号被保険者」、②四十歳以上六十五歳未満の方を「第二号被保険者」と区分されます。

表①　第１号被保険者の保険料と基準額2,500円のときの保険料

区　分	収　入　要　件	基準額2,500円のときの保険料
第１段階	老齢福祉年金受給者	1,250円
第２段階	住民税非課税（世帯）	1,875円
第３段階	住民税非課税者（本人）	2,500円
第４段階	住民税課税	3,125円
第５段階		3,750円

※表の額は国の試算によるもので、あくまでも参考です。

保険料と支払い方法

◆第一号被保険者

六十五歳以上の第一号被保険者については、所得に応じた定額保険料を町の介護サービスの水準などにより、各市町村ごとに設定します。平成七年度のサービス費などをもとに国が試算した額によると、全国平均で一人当たり月額二千五百円程度になる見込みです。（表①）当町の保険料は町の実態を調査、検討しこれからの設定となります。

支払い方法は、受給している年金額が一定額以上の方は、年金からの天引きとなり、それ以外の方は、個別に町に納めていただくことになります。

◆第二号被保険者

四十歳以上六十五歳未満の第二号被保険者については、加入している国民健康保険や社会保険などの医療保険の計算方法により決められます。

支払い方法は、国民健康保険税や社会保険料と一括して納めていただくことになります。

介護サービスを受けるには

要介護の認定が必要

《申請》実際にサービスを受けるときにはまず、本人や家族が町に申請をします。

《調査》申請を受けた町では、家庭を訪問し、利用者の心身状況など八十五項目についての調査を実施します。

《判定・審査》次にコンピューター処理により第一次判定を行い、その結果について医師の意見書をもとに、保健・医療・福祉の専門家などで構成する「介護認定審査会」で協議し、どの程度の介護が必要な状態にあるのかを審査します。

《認定》六十五歳以上の方は、審査会において原因がどうであれ、日常生活で支援や介護が必要と認定されれば、サービスが受けられます。

しかし、四十歳以上六十五歳未満の方は、原因が痴ほうや脳血管障害など「老化にともなう病気」によって介護が必要となった方のみサービスを受けられることになります。

介護サービスは「在宅サービス」と「施設サービス」

介護認定審査会において認定されると、介護を必要とする程度に応じた金額分のサービスが受けられます。（表②）その範囲内で受けられるサービスの量にもとづき、介護支援専門員（ケアマネージャー）が本人や家族などと相談のうえ、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、サービスを受けることになります。また、本人や家族が計画を作成することもできます。

実際に受けることのできるサービスは、大きく分けて「在宅サービス」と「施設サービス」の二つに区分されます。ここでは、サービス内容を紹介します。

●在宅サービス

◆訪問介護（ホームヘルプサービス）

ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、食事、洗濯などの日常生活のお世話をします。

◆訪問入浴

寝たきりの方に対し、おふろを積んだ車でホームヘルパーが自宅に出向き、安全で快適な入浴を提供します。

◆訪問看護

看護婦などが自宅に訪問し、医師の指示にもとづいて、ケガや病気などの治療に必要な処置や療養上のお手伝いをします。

◆訪問・通所リハビリテーション

理学療法士、作業療法士などが自宅や施設を訪問し、日常生活に必要な機能の回復と社会復帰に必要な訓練を行います。

◆居宅療養管理指導

医師や歯科医師、薬剤師などが療養している方の自宅を訪問し、自宅で生活を送るために必要な医学的管理や指導をします。

◆日帰り介護（デイサービス）

デイサービスセンターで入浴や食事、健康チェック、日常の動作訓練などを行います。

◆短期入所生活介護（ショートステイ）

介護をしている方が冠婚葬祭や旅行、病気などで一時的に自宅での介護ができないときに、特別養護老人ホームなどに短期間入所し、介護など必要な援助を受けることができます。

◆短期入所療養介護

酸素吸入や点滴など、自宅で継続治療をしている方が、介護をしている方の都合で一時的に介護を受けることができなくなったときに、病院に短期間入院し治療を継続することができます。

◆痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）

痴ほうで介護が必要な方が少人数で一般の住宅に住み、介護や生活上の援助を受けながら機能訓練を行います。

◆特定施設入所者生活介護

有料老人ホームなどに入所している介護が必要な方に、日常生活のお世話や機能回復訓練、療養などのお世話をします。

◆福祉用具の貸与、購入費の支給

介護の必要な方が自立して生活できるように、車いすなどの日常生活用具を提供します。

◆住宅改修費の支給

居宅内の段差解消、手すりの取り付けなどの改修費用を助成します。

●施設サービス

◆介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

生活全般にわたって常に介護が必要な方で、自宅で生活することが難しいと判断された方が施設に入所して、必要なサービスを受けることができます。

町には、特別養護老人ホーム「ふれあい荘」があります。

◆介護老人保健施設

病状が安定し入院治療をするほどではないが、医療的な機能訓練や介護などが必要な寝たき

表②　要介護度のランクとサービスを受けられる限度額

要介護度	体の状態	サービス費（月額：万円）
〈要支援〉虚　弱	日常生活の能力は基本的にあるが、入浴、衣服の着脱などで週数回の介護が必要	6
〈要介護〉Ⅰ軽　度	立ち上がりや歩行が不安定。衣服着脱、掃除などで毎日1回の介護が必要	14～16
Ⅱ中　度	起き上がりも自力では困難。食事、排泄、入浴などで毎日1回の介護が必要	17～18
Ⅲ重　度	起き上がり、寝返りが自力でできない。毎日2回の介護が必要	21～27
Ⅳ痴　呆	日常生活の能力はかなり低下。意思疎通ができない人も。1日3～4回の介護が必要	23
Ⅴ最重度	生活全般にわたり部分的または全面的な介護に頼る。1日5回以上の介護が必要	23～29

（注）1.厚生省の試算をもとに作成　2.サービス費は平成7年価格
（自己負担はこの1割）

〝図解〟介護保険の流れ

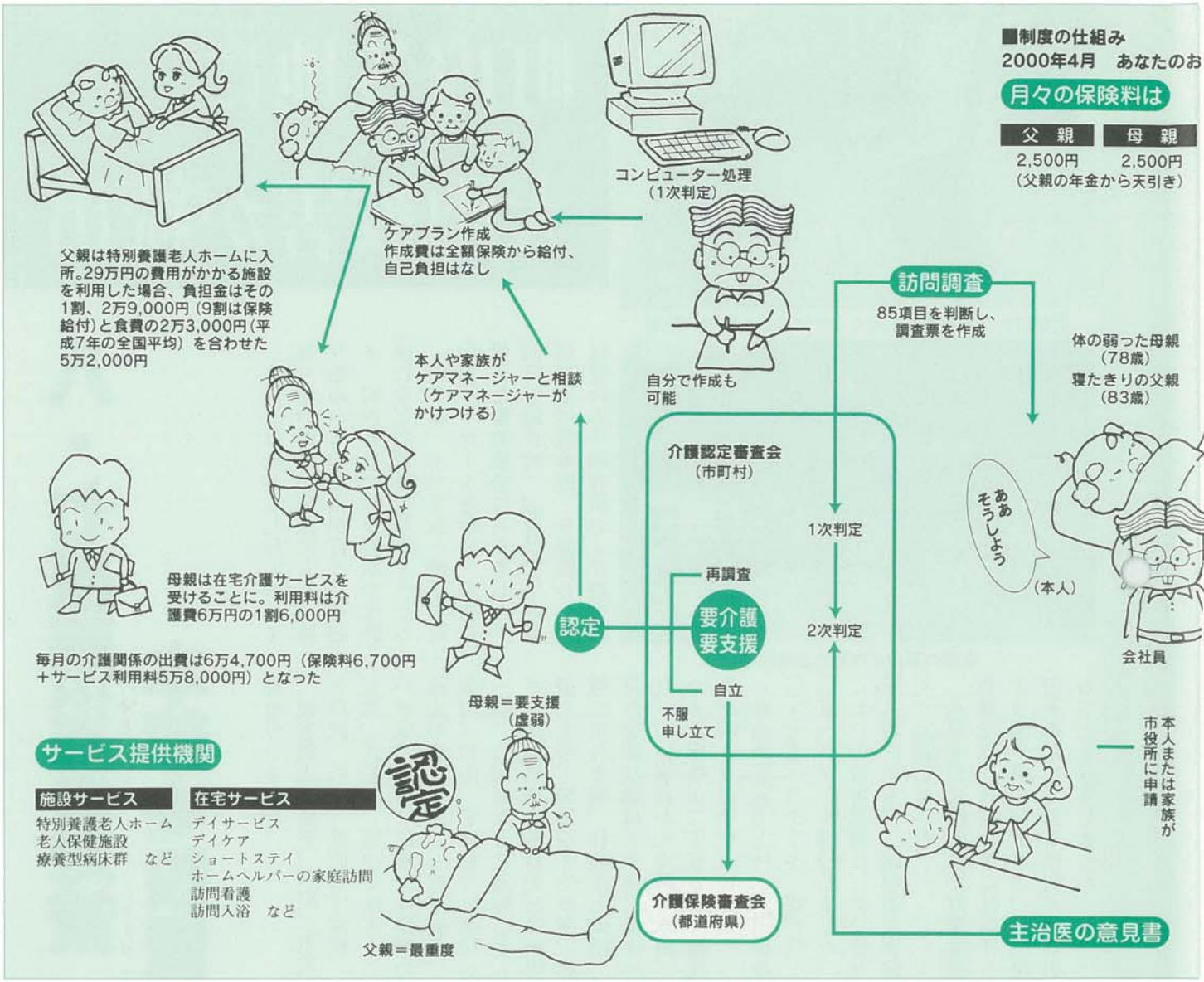
毎月の保険料納入から実際のサービスを受けるにいたるまでを図にしてみました。みなさんも、自分が「本人」になったつもりで、矢印をたどってみてください。（保険料月額やサービスを受けた際の負担金は厚生省の試算によるもので、あくまでも参考です）

宅では

本　人
1,700円
（会社も同額負担）

（注）
平成12年度における介護保険料（1兆8,900億円）を負担する40歳以上（およそ6,500万人）で割り、それを月額に換算した

妻・専業主婦（50歳）



りなどの方が入所して、必要なサービスを受け家庭への復帰をめざすサービスです。

◆介護療養型医療施設

長期にわたり療養を必要とする寝たきりなどの方が必要な治療を受けながら、日常生活や介護を受けることができます。

利用者負担はかかった費用の一割

介護保険サービスを利用した方は、毎月納める保険料とは別に、かかった総費用の一割を負担していただくことになります。

また、特別養護老人ホームや老人保健施設などに入所してサービスを受ける場合は、食事代についても医療保険と同様に自己負担となる仕組みです。

高齢者実態調査にご協力ください

これまでの「町老人保健福祉計画」の見直しとともに、平成十二年四月の介護保険制度の開始にあたり、「町介護保険事業計画」の策定に向けた実態調査を行います。今後どのようなサービスがどれくらい必要なのか、介護保険料をいくらに設定するかを決めるうえでも、重要な調査です。お互いに支え合いながら、安心して暮らせる町づくりのために、町民のみなさんのご協力をお願いします。

◆期間

平成十年九月から十月二十三日まで（調査基準日は九月一日）

◆対象者

・一般高齢者
町内在住の六十五歳以上の方全員
・要援護高齢者
寝たきり・痴ほう・虚弱な六十五歳以上の方全員

◆内容

介護サービスの需要に関する調査など

◆調査員

民生児童委員もしくは在宅介護支援センター職員など

介護保険制度に関するお問い合わせは、役場生活福祉課介護保険係（☎67―2116）まで

町内各地に大雨被害が続出

送橋川の増水で道路下がえぐり取られた下芦沢現場

八・七豪雨災害対策本部を設置

民家の裏山が崩れた送橋現場

八月六日夜から七日にかけて降り続いた集中豪雨により、降り始めからの雨量が百ミリを超え、町内各地で床下浸水や土砂崩れなどの被害が発生しました。

町では、七日午前一時より町内のパトロールを行い、災害に備えた警戒態勢に入りました。同日午前五時、「朝日町八・七豪雨災害対策本部」を設置し、被災箇所の情報収集および被害調査を行いました。

被害調査の結果、栄町、新宿、下芦沢、杉山、松原、宇津野、夏草、西船渡、高田で住宅十二戸が床下浸水。送橋では民家の裏山が崩れ小屋の一部が破損、栄町、杉山、宇津野では区民が一時、公民館などに避難しました。山腹崩壊や路肩欠所は国県道九カ所、町道四十四カ所、農道二十八カ所、林道十七カ所。河川護岸決壊は七カ所。地すべり、がけ崩れが七カ所。水路、ため池崩壊が二十五カ所、橋流失が四カ所になりました。

農作物関係では、水田埋没〇・七五ヘクタール、畑が〇・〇五ヘクタール埋没しました。これらの被害総額は、約二億九千八百六十万円（国県道災害除く）に達しました。

八月七日に開かれた対策本部会議では、公共災害に該当するよう国や県に働きかけ、早期復旧をめざし万全の体制で取り組むことを決定しました。

がんばって那須町

那須大谷開拓組合にリンゴを持参し災害見舞い

八月二十六日から関東・東北地方に降り続いた集中豪雨により、家屋流出や土砂崩れなどの大きな被害が発生した栃木県那須町。那須町および那須大谷開拓農業協同組合に九月一日、町より災害の見舞いに出向き、那須大谷開拓農業協同組合に現金二十万円とリンゴ二十箱、那須町にリンゴ五十箱を持参し見舞いをしてきました。

この日は、清野町長と川口議長が、同町役場や同組合、避難所を慰問。那須大谷開拓農業協同組合では清野町長が、「当町で発生した平成八年の降雹災害の際には、心温まるお見舞いをいただきありがとうございました。生活道路や電気通信網の分断、避難所の生活など不安な毎日をお過ごしのこととお見舞い申し上げます。故郷朝日町のリンゴを食べて元気を出してください」と激励。鈴木那須大谷開拓農業協同組合理事は「有効に活用させていただきます。ありがとうございました」とお礼の言葉を述べられました。

一日も早い復旧を心から願っています。

避難所を訪れ被災者を励ます清野町長と川口議長

◆那須大谷開拓農業協同組合

昭和二十一年、当時の大谷村から入植地を求めて那須高原へ移住し、酪農主体の経営を営む。現在は、七十四戸のうち三十四戸が酪農家。約千五百頭の乳牛を飼育し、年間約七千五百トンの牛乳を出荷している。

西村山保護司研修会開催

西村山保護司研修会が８月25日、町中央公民館で行われました。

これは、「社会を明るくする運動」に関連し、毎年開催されているものです。

この日は、関係者約30人が出席。さまざまな事例をもとに保護司の役割や対処方法などについて活発な話し合いが行われ、犯罪や非行のない明るい社会を築いていくことを誓い合っていました。

町体育協会長に鈴木氏就任

この度、任期満了にともなう町体育協会の役員改選において、鈴木正己氏（松程）が会長に就任されました。

就任にあたり鈴木氏は、「町民一人一スポーツ運動を積極的に推進し、生涯教育、生涯スポーツの振興を図っていきたいと思います。また、スポーツでの健康増進と競技スポーツの強化を図り、活気ある町づくりのお役に立てれば」と語ってくれました。

9月より眼科診療開始

町立病院

町民のみなさんから強い要望が寄せられていた、町立病院の眼科が開設され、九月七日より診療開始になりました。

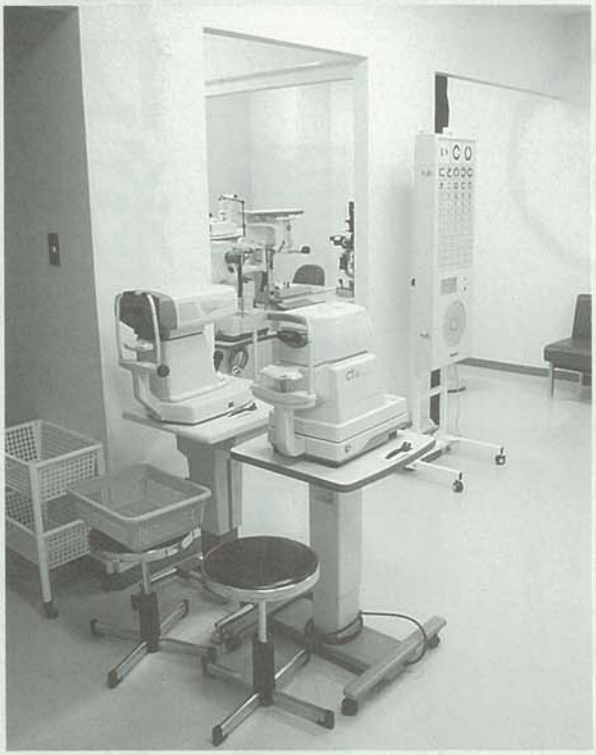
町では、平成八年より眼科開設について、山形大学医学部と協議を進めてきました。この度、同医学部眼科教室より週二回、医師の派遣が正式に決定し、開設にいたりました。

診療日および診療時間は次のとおりです。

●診療日および診療時間
・月曜日　午前8時45分～12時
・木曜日　午後1時45分～4時

●診療医師
・月曜日　菅野　誠先生
・木曜日　笠木靖夫先生

●お問い合わせ先
町立病院（☎67－2125）



最新設備が整った眼科診療室

大谷小学校改築工事起工式

白井助役らがくわ入れを行った起工式

大谷小学校改築工事の起工式および安全祈願祭が八月二十八日、現地で行われました。

関係者約四十人が出席するなか、白井助役らが玉ぐしをささげ、工事期間中の安全を祈りました。

今回の改築工事は、校舎の老朽化にともない、今年度から二カ年計画で新校舎の建設を予定しています。平成十一年六月末の完成予定です。

新校舎は、鉄筋鉄骨コンクリート二階建て、床面積二、八五四平方メートル。屋内運動場の床面積は一、〇九七平方メートルで、総工事費は九億九千百二十万円となっています。

若宮寺の境内で披露されためずらしい奴振り

伝統の大名行列 勇壮な獅子踊り

八ツ沼春日神社祭礼

カメラさんぽ

八ツ沼春日神社例祭が八月十五日行われ、四百年以上の伝統を誇る角田流八ツ沼獅子踊りや奴（やっこ）などが地区内を練り歩きました。

同例祭は毎年八月十五日ですが、大名行列は旧暦のうるう年に行われ、今回は三年ぶりの実施となります。この日は、にぎやかな笛や太鼓の音色に合わせてみこしや獅子舞、威勢のいい奴振りなどを披露し、観衆からは大きな拍手が送られていました。

3年ぶりに行われた地区民総出の大名行列

帰省客など多くの観衆が詰めかけた

八ツ沼春日神社で奉納された角田流八ツ沼獅子踊り

獅子舞の奉納を見守る関係者

ステキな笑顔で休憩中

祭りを一段と盛り上げる若手後継者

「まんず、お神酒飲まっしゃい」。
「ありがどさま。うまいねえ〜」

まちの話題

まちの話題…❶　第３回りんごの町の夏まつり

フリーマーケット

女性みこし

女性みこしがまつりを盛り上げた

第３回りんごの町の夏まつりが８月９日、宮宿商店街大通りを歩行者天国にして開催されました。

同まつりは、行政主体のイベントではなく、町づくり実行委員会が主催する町民のみなさんによる手づくりのイベントです。今年は「夏にひびけ　音の競演」をテーマに、ロックコンサートや朝日町版これができたら賞金チャレンジ大会、郷土芸能の共演などが行われました。

特に、初めて行われた女性みこしには、担ぎ手がねじり鉢巻にそろいの法被姿で登場。男性顔負けのりりしさとあでやかさで祭りを盛り上げ、訪れた多くの観客を魅了しました。

また、恒例となったフリーマーケットでは、威勢のよい掛け声が会場いっぱいに響くなど、夜遅くまでにぎわいをみせていました。

まちの話題…❸　町内初の市「里山市」が開催

旬のうまいもの大集合

町内初の市「里山市」が８月２日からりんご温泉で開催されています。

これは、里山市グループが毎週日曜日の午前10時から午後２時まで行っているもので、リンゴやカボチャ、みそ田楽など、朝日町のうまいものが大集合しました。

代表の菅井正人さん（沼向）は、「新鮮な農産物を格安で販売しています。市を通して町のＰＲや交流を図っていければ。また、私たちと一緒に里山市を盛り上げていくメンバーを募集中ですので、気軽に声を掛けてください」と語ってくれました。

まちの話題…❷　西部スポーツ大会

スポーツでさわやかな汗

第５回西部地区スポーツフェスティバルが８月23日、健康増進センターなどを会場に開催されました。

この日は、西部地区の全集落の子供からお年寄りまで約800人が参加。グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、ソフトボールの４種目が行われ、好プレー珍プレーが続出。参加者はさわやかな汗を流し、親ぼくを深め合っていました。

まちの話題…❺　里芋に花が咲く

里芋に花！「孫のようでかわいくてなぁ」

松程の佐竹俊二さん方では、畑で栽培している里芋に花が咲き、近所の話題になっています。

県農蚕園芸課に勤務の鈴木勝治さん（小原）に問い合わせたところ、「もともと里芋は熱帯性の植物なので、日本で花が咲くことは、ほとんどありえません。しかも北国の山形県で咲くとは……」とのこと。俊二さんは「長年里芋をつくっていますが、こんなことは初めて。以前に里芋の花が咲いたニュースを聞いたことがありましたので、一度は咲かせてみたいと思っていました。孫のようにかわいくて、日に何度も見に行ってしまいます」と、目を細めながら語ってくれました。

まちの話題…❹ 大谷風神祭り

活気あふれる伝統の夜祭り

江戸時代の宝暦年間（1751年）から行われている大谷の風祭り。そのころの二百十日前後に暴風雨が３、４年続けて襲来し、農作物や住宅に大被害を及ぼしたため、村人が神様に暴風雨がこないようにとお願いしたのが始まりだそうです。

今年も８月31日の夜、風祭りが盛大に開催され、各地区の手づくり山車（だし）や田楽ちょうちん、角田流大谷獅子踊りなどが地区内を練り歩きました。また、「暴れ獅子」で名高い大谷神楽が登場すると祭りのムードも最高潮。活気あふれる夜祭りとなりました。

まちの話題…❼ ジャンボスイカ大会

62.5キロの新記録で優勝

ジャンボスイカ大会が８月29日、朝日自然観で行われました。

朝日自然観オープン10周年イベントの一つとして開催されたもので、５月から各家庭や学校などで育てた、最大重量150キロの記録がある「カロライナクロス」の重さを競い合いました。

この日は計31個が出品。計量の結果、菅野晴吉さん（尾花沢市）が、去年の優勝記録37キロを大きく上回る62.5キロの新記録で優勝しました。

また、会場ではビアパーティーが開かれ、参加者約50人がスイカボウリングなどのゲームを楽しみました。

まちの話題…❻　りんごの町の国際交流

フィリピン料理のパストラック

写真撮影会

食でつなごう 世界の輪・和・話

料理による国際交流を図ろうと「りんごの町の国際交流　食でつなごう世界の輪・和・話」が８月９日、宮宿商店街大通りで開催されました。

同交流会は「あさひまちＦ21プロジェクト」が主催したものです。フィリピンや韓国、中国から町内に嫁いできたみなさんが中心となって調理した祖国料理の試食会や、民族衣装の展示、写真撮影会などが行われました。

試食会では、中国料理の水ぎょうざやネパール料理のチキンカレー、フィリピン料理でバナナを包み揚げにしたパストラック、韓国キムチなど本場の調味料を使った自慢の料理を用意。参加者は４カ国の自慢料理に舌鼓を打ちながら、「日本料理にはない不思議な味がして、食文化の違いを感じました。とてもおいしいですね」と満足そうに語ってくれました。

みんなのひろば

すてきな仲間たち ㊶

「和合ミニバスケットボールスポーツ少年団」
夢のゴールへナイスシュート

リンゴの里和合で、昭和54年より「和合ミニバスケットボールスポーツ少年団」として活動を始め、東北大会への出場経験もある伝統のある少年団です。

現在は、和合や大谷地区のバスケットボール好きの男子15名、女子11名の子供たちが、「忍耐力や集中力、相手を思いやる気持ちが練習の中から生まれてくること」をモットーに、和合小学校の体育館が壊れる？のが心配なくらい大きく元気な声で走り回り練習をしています。

ただ一つ大きな悩みは、団員不足です。バスケットボールをやってみたいと思っている君たち。一緒に汗を流してみませんか。団員大募集中です。

（代表　近衛美智永　67－2813）

栗木沢／大竹　貴之さん　由理さん

新婚さん

友達の紹介で知り合ったお二人。貴之さんの第一印象は「背が高くてかわいい子だな」。一方由理さんは「目が細くて怖そうな人」だったとか。そんな貴之さんの熱烈なラブアタックにより、二人の仲は急接近し、いつの間にかお互いになくてはならない存在になっていったそうです。

印象に残っているデートは？の質問には、「由理が寮生活だったので寮を外出（抜け出し？）し、１～２時間のスリルある夜のドライブを楽しんだことかな」と、今だから笑って済ませられる恋愛歴のあるお二人。お互いの魅力をお聞きしたところ、「優しいところ」と貴之さん。「私のことを一番に考えてくれるところかな」と照れながらの由理さん。「一緒にいられる時間を大切にし、明るい家庭にしたいね」と声をそろえて語ってくれました。長男の渉くんも誕生し、幸せいっぱいのカップルでした。

町立図書館新刊紹介

今月のおすすめ

「巨大な落日」　田原総一郎　著

大蔵省というシステム＝日本型システムが機能不全に陥っている。超エリート集団は、どこで誤ったのか？この国に君臨してきた大蔵省が、国を沈めかねない金融危機を招くまでの曲折を描いた迫真のドキュメント。

「あるべき明日」　堺屋太一　著

日本が不況・不評・不安の三重苦に陥っているのは、この国の進む方向と進む仕組みが世界の潮流から外れているからだ。古くなってしまった日本の体制を改め、「明日のあるべき姿」を問い直す。日本盛衰の岐路に問う警世の書。

「幸福の条件」　津村節子　著

人口受精で見知らぬ男の子供を宿した女が九年後、男に告げた決意とは。一瞬の運命の揺らぎや愛の亀裂に惑いつつ懸命に生きる女性たちを描いた十三編を収める。

「セザンヌ」を探せ　ピーター・メイル　著

ニューヨークの敏腕女性編集長から頼まれてカメラマンのアンドレは、リヴィエラの豪邸に向かう。そこで目撃したのは密かに運び出されるセザンヌの絵だった。次々と明らかにされる美術業界の奇々怪々な裏側。英米でベストセラー。

今月の新刊

▶海燕ホテル・ブルー（船戸与一）▶ブエノスアイレス午前零時（藤沢周）▶燃える地の果てに（逢坂剛）▶ライン（村上竜）▶ダイオキシン100の知識（左巻健男）▶夜光虫（馳星周）▶男40代からの「心」の育て方（斎藤茂太）▶お江戸風流散歩道（杉浦日向子）▶勝海舟行蔵は我にあり（加来耕三）▶あなたの部下になりたい―人を動かす達人（中谷彰宏）▶池田満寿夫▶もうひとつの愛（池依依）▶子育て楽天主義―赤ちゃんは「ゆっくり」がいちばん―（山田真）▶いのち・からだ・性―河野美代子の熱烈メッセージ―

となりのリンゴさん

作・ホリィ (117)

ひとことトーク

バスケットに関わり30年

子供たちと共有した時間がかけがえのない財産

清野　久憲さん
（四ノ沢）

中学時代からバスケットボールを始め、その魅力に引かれスポーツ少年団の指導者、日本バスケットボール協会公認審判員としてバスケに関わり続け二十数年立ちました。その間、指導者として東北大会出場、審判員としては、べにばな国体などを経験しました。

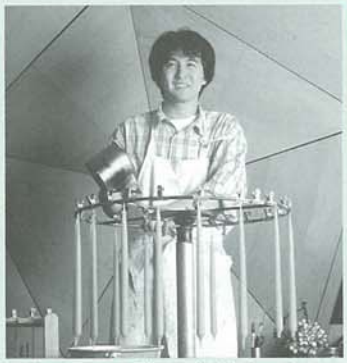
スポ少を通してこれまで数多くの子供たちと接してきました。その年によりチームに力の差はありますが、練習や大会などでのつらい思いや悔しい思い、うれしい思いを子供たちと共有できたことは、かけがえのない財産であり、これまで続けられた理由のひとつだと思います。

現在は上級審判員の取得をめざしていますが、将来、自分の指導した子供たちが全国大会の舞台で活躍し、その試合で審判員として笛が吹けたら最高です。

企業ほうもん ㉙

ビーズファーム

電話
(事) 67－3260
(自) 68－2207


蜜ローソク職人　安藤竜二さん

立木にあるビーズファーム

安藤さんが心を込めてつくった蜜ローソク

▼ビーズファームを紹介してください。

養蜂でどうしても出てしまう「ムダ巣」を原料に、蜜ローソクをつくり販売しています。土曜、日曜日には仕事場を見学できるようにしていますし、近ごろは蜜ローソクづくりや森を散策するといった体験講座が人気です。おかげさまで、この仕事だけで生活しています。

▼売れ行きはいかがでしょうか。

通信販売のほかに、全国の工芸店や専門店に卸販売しております。環境への関心が高まっていますのでよく売れています。

お客様は、自然が好きな人や心の豊かさを求めている方など、女性の方が多いようです。わざわざ遠くから来られる方もいらっしゃいます。

▼抱負を聞かせてください。

現在、新しい工房を建築中です。もっと多くの人に朝日町のすばらしさや蜜ローソクの良さを伝えたいですね。豊かな森とミツバチがもたらしてくれた蜜ローソクの魅力を、いつまでも損なうことなく、お客様に届けていきたいと思っています。

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、質問など待っています。

〔あて先●朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係〕

資源回収を町で行ってほしい

近 年は、子ども会の資源回収もさまざまな制約が出されており、業者によっては回収しない物もあるようです。古本や古新聞、ダンボールなど町で年二～三回位回収していただけないでしょうか。【匿名希望】

＊　＊　＊

答 子ども会の資源回収は、資源回収に大きな成果をあげています。物を大切にする心を育む意味でも活動を積極的に支援していく考えですので、現在は町で回収する考えはありません。古紙類がスムーズに回収できるよう業者と話し合いを行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。【生活福祉課】

いつも満車で駐車できない役場前駐車場

役 場前の駐車場についてお願いがあります。職員の方と来庁者の駐車場所の区別を、きちんとしていただけないでしょうか。いつも満車で駐車する場所がなく困ってしまいます。【匿名希望】

＊　＊　＊

答 役場および中央公民館前の駐車場には、黄色の線が引かれており、そこは来庁者の方に駐車していただく場所として確保しています。職員の車は、施設より離れた白色の線が引かれた場所に駐車していますので、よろしくご理解ください。

なお、役場前の駐車場も決して広いとはいえないため、イベントなどが複数開催された場合には、駐車できない車もでてくるようです。このような場合は、役場裏の広場などを開放し対応していきます。【総務課】

緑色の部分が来庁者用に確保されている駐車場所

PHS（簡易型携帯電話）の開局予定は

朝 日町でも昨年秋から携帯電話が使えるようになりましたが、若者に人気のPHS（簡易型携帯電話）については、今後どのような予定になっているのでしょうか。

大江町では、PHSのアンテナ工事も完了し、まもなく開局するようです。特に朝日自然観などでは、携帯電話圏外なので、PHSは有効なメディアだと思います。【稲村浩幸・夏草】

＊　＊　＊

答 当町での携帯電話は現在、一社のみの開局となっています。朝日自然観や山間地では、一部使用できませんが、今年度に入りさらに携帯電話サービス会社（二社）から、朝日自然観も利用範囲に含めた中継局の設置について、申し入れがあったところです。

開局時期やサービスの種類などは、明確にされていませんが、日常時はもとより緊急時においても利用価値の高い携帯電話の利用範囲拡大について、町としても利用価値の高い携帯電話

利用価値の高い携帯電話

広報◆クイズ　図書券が当たる

【問題】
①右の写真は江戸時代の宝暦年間（一七五一年）から行われている「大谷の○祭り」
②平成十二年四月から始まる「○○保険制度」
③九月七日から診療開始となった「町立病院の○科」

【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【八月号の答え】①朝日　②伊予　③秋葉

【応募者総数】二十三人

【八月号の当選者】安藤香さん（松原）・鈴木秀治さん（松程）・白田ケイ子さん（栗木沢）

こせきのまど

■8月1日～31日届出

すこやかに

（出生届）

■8月1日～31日届出

区名	出生児氏名	保護者名
大谷二	渡辺晃人（あきと）	寿典
西船渡	鈴木富美也（ふみや）	憲二
前田沢	渡邉圭織（かおり）	一義
大滝	柴田滉介（こうすけ）	功

おしあわせに

（婚姻届）

長岡　信（西町）♥ 髙橋和歌子（村山市）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
松程	布施五郎左エ門	榮五郎
中沢	白田徹男	孝志
松程	鈴木作太郎	喜代治
真中	武田賢藏	賢一
前田沢	大場きぬゑ	勝一
西町	鈴木サカエ	正治
松程	佐竹薫	茂美

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成10年8月31日現在

人口		9,839（減 1）
	男	4,879（減 2）
	女	4,960（増 1）
世帯数		2,610（増 1）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ㉔

今回は、8月9日の「りんごの町の国際交流会」でふるまわれた韓国の家庭料理「チャプチェ」を紹介します。韓国の味をご家庭で味わってみてください。

◆チャプチェ

《材　料》タンメン（韓国食材店などで購入）・タマネギ・シイタケ・ニンジン・ホウレン草・豚もも肉・ゴマ油・砂糖・白ゴマ・しょう油・コショウ

※材料の量はお好みの量で結構です。あなた好みのチャプチェを作ってみてください。

《作り方》①タマネギを薄切りにする。
②ホウレン草をさっとお湯にくぐし、切りそろえる。
③ピーマン、シイタケ、ニンジン、豚もも肉を千切りにする。
④上記①～③の材料がそろったら、全部をゴマ油で炒める。
⑤タンメンをゆでる。
⑥ゆで上がったら④に混ぜて、さっと炒める。

夢 ⑯ かなうといいな

今月は大谷小大暮山分校五・六年生です

●私は子どもが好きなので将来保母さんになりたいです。やさしい保母さんになって、子どもたちに折り紙や色々な遊びを教えてあげたいな。

五年・鈴木紋子

●ぼくは将来お父さんが勤めている食品を作る会社に入りたいです。たくさんの人に、ぼくの作った食品を食べてもらえたらうれしいです。

六年・長岡竜実

●将来の夢は大工になることです。住む人が喜んでくれるような立派な家を建てたいです。手先が器用な方なので細かい作業が得意です。

六年・阿部貴喜

●私は柔道のスポーツ少年団に入っているので、それを生かして婦人けい官になりたいです。交通事故ゼロの町になるようにがんばるぞ。

六年・堀　沙織

フレッシュな情報をお待ちしています

「すてきな仲間たち」「さわやか新婚さん」「ひとことトーク」「企業ほうもん」「くらしの知恵袋」の各コーナーに、登場していただける人やグループを募集しています。「出てみたい人」「出してあげたい人」がいれば、総務課文書広報係（☎67－2111）または、もよりの広報委員まで連絡ください。広報の折り込みはがきにでも結構です。お待ちしています。

■広報あさひまち　第502号　平成10年9月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田大印刷所

第四十回県こども絵画展覧会

こども県展で朝日中生徒が最高賞を受賞

第四十回県こども絵画展覧会（こども県展）中学三年生の部で、犬飼大志くん（真中・朝日中三年生）が見事最高賞に輝きました。

同県展は、幼児から中学生までの各学年十二部門に分かれており、応募総数一万三百三十五点の作品が寄せられました。

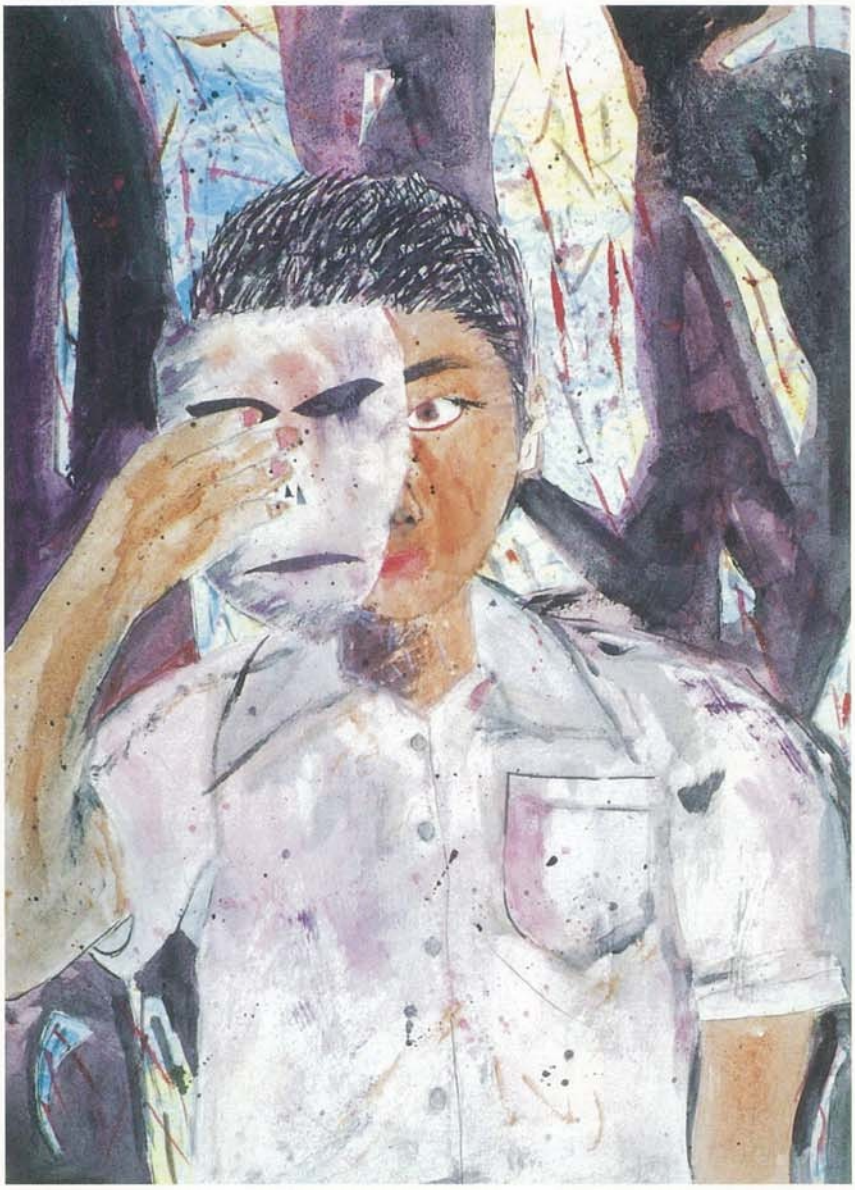
最終審査に当たった上越教育大教授の西野範夫氏は犬飼くんの作品について、「存在感のあるとてもいい絵だ。これに対面できて非常にうれしい。絵が悪くなるのに、もう一人の自分が仮面をかぶっている。自分の中にいろんな自分がいることを知る。絵をかく意味が出ている珍しい作品だ」と評しました。

犬飼くんは「人間にはいろいろな感情があり、良い自分や悪い自分などが存在することを何とか表現したかった。絵をかいたときは気分が悪く、むしゃくしゃしていたことが逆に幸いしたのかも。これからも絵をかき続けていきたい」と、受賞の喜びを語ってくれました。

中学3年生の部
●
最高賞

「仮面の下」

製作者／
犬飼　大志くん
（真中・朝日中三年生）



（写真提供・山形新聞社）

春 夏 秋 冬
編集後記

毎日、見慣れている風景にいろいろな発見をしたり、季節を感じたりすることがあります。このごろの日課に息子との散歩を取り入れました。

その途中、大人にとっては珍しくないものも、一歳三カ月になる息子にとっては何でも珍しいらしく、「ウォッ」などと声を上げて指を指し、これは何なのか答えを求められます。「これはクリだよ」、「これはコスモス、きれいだね」などと教えているのですが、教えた本人も「こんな所にクリの木があったのか。もうそんな季節か」と改めて感じさせられ、なぜか懐かしい気持ちに浸ってしまいます。

車社会の現在、たまには時間を見つけて、散歩などを楽しんでみるのもいいかもしれません。自分の足で歩いてみると、流れていた景色が止まって見えてくるようです。（O）